

ちくさええとこ通信

千種中学校3年生
「千種学」の授業
2019. 6. 25

秋に咲くたくさんの
草花のことを「ちくさ」と
いうそうです。

No.14

2019.9.15 発行



萩



尾花



葛花



撫子



女郎花



藤袴



朝貌

やまのうえのおくら

山上憶良が「秋の七草」を、

秋の野に咲きたる花を指折り かき数ふれば七種の花

萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また

藤袴 朝貌の花

と詠んだのは西暦 700 年の頃です。1300 年の文化の伝達
です。



ちくさ
ええとこ通信



ちくさ
ええとこネット

異年齢の友だちと一緒に遊ぶ

ちくさ杉の子こども園

異年齢の子どもたちが一緒に砂場、色水、泥遊びをすることで、年長児を真似したり年下の友だちに教えてあげたりしながら一緒に過ごす楽しさを味わい、仲良く関わり合っています。

みんなのアイデアで次々に用具が運ばれ協力することでより楽しい遊びに発展します。最初は、砂、水、泥が服や体につくことがイヤだった子どもたちも、少しずつ感触の気持ちよさや楽しさに気づき自分から試していく様子が見られます。

水着を着て作る大きなシャボン玉、片栗粉に水を入れてスライム、絵の具を付けた手で描く段ボールアートなどダイナミックな遊びを日々楽しんでいます。



ジュース屋さんの準備

「赤い花、一緒に取りに行こう」
「こうすると色がでるよ」



泥のごちそう作り

「もっと入れたらいいよ」「どうぞ」



砂場に山や川をつくるよ

「もう少しでつながる！」
「そっち、もっと掘って」



「おまたせしました」
「ジュース・ホットケーキです」



水の滑り台完成

「水を流すよ〜」「何を転がしてみよう？」



みんなで片付け

「あしたもしような〜」

ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

千種小学校

2年生 まちたんけん（6月）

休みのところを開けていただいたり、特別に仕事場を見せていただいたり、新しい発見がたくさんありました。移動中もいろいろな人に声をかけてもらい、たくさんの人たちのおかげで、自分たちが生活できていることに気づくことができました。お世話になったまちの皆さん、ありがとうございました。

3年生 たかのす東小学校・千種北小学校へ行こう！（5・6・7月〜）

3年生は環境体験学習の中で、統合前の3つの小学校に興味をもち、出かけました。

たかのす東小学校では自然観察やピザづくりをして楽しみました。千種北小では、当時通っていた子どもたちの様子や地域の方々の思いがこもった手作りのグレンデなどについて知るにつれ、ほこりをかぶってさみしくなった今の校舎を何とかしたいと思うようになり、千種北小大そうじ大作戦を実施しました。

6年生 カーブミラー磨き（8月）

今年も恒例のカーブミラー磨きをしました。警察や交通安全協会のみなさんといっしょに、交通安全への願いを込めて拭き上げました。

地域の方から「ありがとう」と声をかけていただき、あたたかい心の交流もできました。

「千種の人やもの」とかかわって学び、
「ふるさと千種」を愛する心を育てています

フードストア
おくだ

さばの三枚おろし！

ピザづくり

貝だくさんのピザ！
おいしいね！

8年前になくなった学校がキャンプ場になって、
遠くの人にも使われていることはすごいな。

きれいにして、
もう一度みんな
が集まる場所に
したいな！

千種北小大そうじ大作戦



～児童の感想から～

おまわりさんや見守り隊の人と協力してカーブミラーを磨きました。とても暑くて大変でした。脚立に上ってぞうきんでいっしょうけんめい磨きました。

カーブミラーをきれいにしたので、もう事故がおきなければいいなあ、と思いました。社会に役立つことをすると、すこしうれしくなりました。カーブミラーがピカピカになると心もピカピカになります。これからもいろんな掃除をしてピカピカにしたいです。（岡 和花）

千種中学校平和学習～「平和な世界とは、どんな世界」～

8月5日（月）1・2年生で「平和な世界とは、どんな世界？」をテーマに、沖縄戦に着目した平和学習を行いました。太平洋戦争や沖縄戦について学習した後、ビデオ「さとうきび畑の唄」を見ました。「戦争は恐ろしい」や「家族はやっぱり大切」などと様々なことを感じ、考える様子がみられました。最後に、「平和な世界とは、どんな世界？」や「実現に向けて、あなたは何かができるのか」をみんなで話し合い、感想にまとめました。

【生徒の感想】

ビデオを見る前に話題となった「戦争がないだけで平和になるのか」について考えてみました。戦争がなくなるのも平和になる1つのことだけど、他にも病気で苦しんでいる子や学校に行きたいけど行けない子、学校でいじめられている子などたくさん苦しんでいる人がいます。私が思う「平和」は「誰もが苦しい思いをせず、誰もが毎日幸せと思うこと」が本当の平和だと考えることができました。（2年 大北梨乃）



「平和」とは、「争いがないことではなくて、その争いをみんなでどんな方法なら治められるかを考え、一番安全な解決策を見つけて実行できること」だと思います。争いはどんな場所にも起こるものです。だからこそ、どんな方法でカバーするかが大切になります。自分さえよければ良いでは「平和」にはならないので、いろんな人の想いに寄り添って考えた方法が「平和」につながると思います。（2年 小松 煌）

がんばっています！ 千種高校生



◆ライフル射撃、パソコンが全国出場！
ライフル射撃部とパソコン部が、2年連続で全国大会に出場しました。ライフル射撃部2年生の尾上さんはビームライフル競技に、パソコン部3年生の池部君は日本語スピード競技にそれぞれ出場し、健闘しました。
出発前に福元市長から激励を受けました。



◆妙見夏まつりに参加！

今年も、妙見夏まつりに参加し、ステージの「千種高校タイム」では、カルチャー部の生徒が軽音楽と金管、箏がコラボレーションした演奏を披露しました。

また、当日朝の会場設営には、生徒会執行部や運動部の生徒が協力しました。



◆「遠隔授業」の研究を推進！

和田山高との遠隔授業は、2年目を迎えました。今年は、千種高校の国語の授業を千種・和田山両高の生徒が一緒に受講します。

遠隔授業は、小規模校の教育課程を多様化することに大きなねらいがあり、来年度は、和田山高の簿記の授業を共同で受講することを計画しています。

◆野球部が大健闘！

野球部は、全国高校野球選手権兵庫大会で2年ぶりに3回戦に進出しました。ほっともっとスタジアム神戸に校歌が流れました。

また、3年生引退後の新チームで臨んだ秋季大会では、龍野北高、福崎高、佐用高を破り、西播Bブロックの第1代表として、3年ぶりの県大会出場を決めました。



◆小・中学生とスポーツを楽しむ！

夏季休業を利用して、千種の高校生と小・中学生がスポーツで交流をしました。

恒例のバレーボール教室、卓球教室に加え、今年はゴルフ教室も開催しました。いずれの種目でも、高校生が優しく指導しました。

小・中学生のみなさんには、将来、千種高校生として活躍してほしいものです。

☆頑張っています

ちくさうとこ

☆頑張っています

ちくさうとこ

サナボリ

千草自治会

「サナボリしょうで、花正、6時な!」。電話連絡が回って、隣保のおいちゃんたち10人ほどがいそいそと集まってきました。「田植えが終わったらサナボリや」と、花見の時に約束していたのです。

みなさんはサナボリをご存じですか。百姓（誇り高い言葉です）は、田植えが終わると何とも言えない充足感を味わいます。そして「サナボリ」をします。田植機が圧倒的な速さで移植する現代でも、田植えが終わるとほっとしますが、何日もかけて「早乙女が裳裾ぬらして玉苗を植えた」頃の、その安堵と喜びの大きさは計り知れません。

柳田国男氏によれば、地方によっては「サノボリ」「サナブリ」とも言って、全国各地で見られる風習です。「サナボリ」は田んぼの神様に感謝するお祭りです。「サ」は神様のこと、その神様が田植えの完了を見届けて、山へ帰る、さらには昇天する（ノボル）。「サノボリ」が転訛して「サナボリ」になりました。「早乙女」の「サ」、「五月雨」の「サ」、「早苗」の「サ」なども、その神様なんだそうです。辞書を引くと「早苗饗」が出てきます。美しい漢字表記です。

近所のおばあちゃんが教えてくれました。「田植えが遅れとる田んぼは、村の若い衆が手伝うて、どっこの田んぼも田植えがすんでから、サナボリをしたんじゃで」「早乙女らあは座敷の上座へ座らしてもろうて、ごつつおー食べさしてもろうて、そらあ、大事にしてもろたんじゃ」そういえば、昔、田んぼの水口に、ちょっとしたお供えがしてあったような記憶や、「今日はサナボリや」と、母が寿司を作ったような覚えがあります。

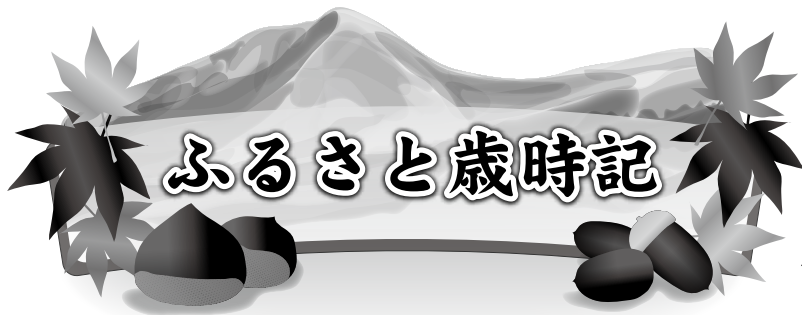


昭和の田植え

昔から百姓は「稲をつくる」とか「米をつくる」とは言いません。米は人間がつくるのではなく、太陽や水や土の力によってできることを身をもって知っていたのです。だから、稲や米は「できる」とれる」と表現してきました。そして、自然に感謝し、祈り、祀る気持ちがお祭りになりました。今は、お米はお金で買えます。でも、つい100年ほど前までは、不作の年は飢え死にしたり、一家離散に追い込まれたりもしました。だからこそ、山にも川にも土にも虫にも祈り、あらゆる自然の神様に感謝したのです。

ともあれ、仲良し隣保のおいちゃんたちは、夜が更けるほどに酔いが回り、次は何を肴に飲み会をしようかと作戦を練るのです。





ふるさと歳時記



ひゃくはっとう

百八灯

お盆を終えた8月17日(土)、黒土自治会の5.6 隣保、通称「ウエジゲ」で恒例の百八灯(ひゃくはっとう)といった行事が行なわれました。暑さが引いた夕方、お大師さんに隣保や里帰りの方が集まり、沢山のローソクの灯を石垣に灯し、供養されました。

百八灯のいわれを、最年長の鳥居寿栄さん(97歳)に尋ねてみました。ことの起こりは定かではないそうですが、昔から続いているものでローソクが無かったころは、子供から大人まで、瓦のかげらに油を入れて、火を灯し、古老がご詠歌のようなものを読まれていたのを記憶されているそうです。今では、毎年、お盆が過ぎた最初の土曜日の夕方に行われています。

百八灯は全国各地にもあるようですが、千種町内では珍しい催しです。なぜ、黒土のこの地で行われているのかを推察すると、豊臣秀吉により長水城が落城し、鷹巣方面での戦いの後に宇野一族が秀吉軍に追われ、宇野氏の著名な武将がこのお堂の近くで亡くなったとの逸話があります。今も、お堂に隣接して、五輪さんや、墓石があるとのことで、その際に亡くなられた武将を地域の方が葬り、その供養が「百八灯」として、今に伝わっているのかもしれません。

ともあれ、今は数少なくなった子供たちに代わり、帰省された方や地域の皆さんの手で伝統行事として継承されています。



鳥居寿栄(ヒサエ)さん



百八灯の会場となる 5.6 隣保のお大師さん

※ 百八灯(ひゃくはっとう)は伝説の百八煩惱に基づいた行事で、今では、多数のローソクや線香で行うことが一般的になっているそうです。



※ 地域の行事 9月15日(日) 黒土滝まつり 13.00～

ペンリレー 第3回 村下 聡さん

前回の塩垣さんから村下さんを紹介していただきました。

Q 今やっていることは？

A 仕事は建築業をしております。
新築工事やリフォーム工事をメインにあらゆる工事を施工させて頂いています。あとは、消防団、商工会青年部で活動させて頂いており、妙見夏まつりの実行委員会のメンバーとしても活動させて頂いています。

Q 今、何が一番楽しいですか？

A 今は、家族と過ごしているときが一番楽しいです。
特に、一歳の娘がいるのですが、誰に似たのかひょうきんなところがあり、いつも笑わせてくれます。保育所でも日に日にいろんなことが出来るようになっていっているので、保育所の連絡帳を見るのも楽しみの一つです。僕にとって一番の癒しは、家族の笑顔と家族との時間だと実感しています。

Q 将来の夢は？

A 新婚旅行で行ったヨーロッパにもう一度行くのが今の将来の夢です。
行った時期というのが、ちょうどテロがあったときで廻りには警察官が警戒にあたっていたりでドキドキしながらの旅行でしたが、すごくよかったのもう一度行きたいと思っています。夢物語にならないようにコツコツと貯金～頑張らないと・・・(笑)

Q 皆さんに一言どうぞ

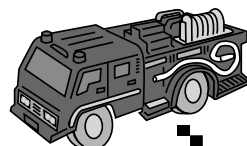
A 家のことでお困りのことや気になる箇所などはありませんか？
どんなことでもお気軽にご相談ください。

(有) ケンコー ☎0790-76-3551



実栗市消防団 千種支団 第2分団 河呂部の紹介

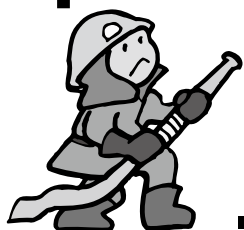
はじめに、日頃から地域住民の皆様には消防団活動に、ご理解ご協力を頂き心より御礼申し上げます。河呂部は、団員数 12 名で活動していますが、昼中は殆どの団員が町外で働いているため、有事の際には、河呂自主防災会『笛石会』をはじめ、OBや住民の皆様の協力を頂いていますこと団員一同、感謝しております。



河呂部と言えば、10月秋祭りの村芝居・よさこい踊りです。約 40 年前、先輩方が大森神社農村歌舞伎舞台を利用し芝居をされたのがきっかけで、今に続いています。

仕事から帰宅後、遅くまで芝居・踊りの練習は大変で、団員数も少なくなり1人1人の負担も多くなっていますが、地域の皆さんの「楽しみにしようでな!!」という声を聞き、頑張っています。今年も、そろそろ練習が始まります。機会があれば一度、見に来てください。

最後になりましたが毎年、団員の家族の皆様には多大なご迷惑をお掛けしております事、この場を借りて心よりお詫び申し上げます。



地域あげての取り組みで

めざそう獣害ゼロの町!!



年々増え続ける獣害（鹿、イノシシ、サル、・・・）、ほんとに耕作意欲がなくなります。これも農地が荒れていく一つの大きな原因です。千種町の現状は各自やグループで時間とお金をかけて柵を作り対策をしています。ここ数年、ますますひどくなっているように思われませんか？

そこで、自治会・農会・行政・ＪＡ・有志で、集落で対策をしている所を見に行ったり、専門の先生に来てもらって話を聞いたりしました。確実に成果を出しているところが幾つもあることが分かりました。実際に見に行ったところ（広島県東広島市小田地区）ではなんと個人の柵が一切ありません。獣害ゼロではないですが、個人で柵をするほどの被害はないのです。

どこも共通のポイントは、

①集落で柵をしっかりする。最低月一回は点検をする。（できればもっと。

小田地区では週一回、報酬を出して見回り班を作っている。）

②中に入り込んでいる獣を猟友会が中心に追い出す、捕獲する。

③柵の点検補修がされていたら獣の入ってくる場所が限られてくるので捕獲もしやすい。猟友会と住民が協力して捕獲する。

ということです。つまり、今の千種は各自が守るだけで「追い出す・捕獲する」は猟友会まかせ。それをするには集落がまとまって、あるいは、千種全体がまとまって、「柵の点検、追い出し、捕獲」に取り組む必要があるということでした。

話を聞いていて、これは夢ではないなあ、柵のない風景が作れるかも。そしたらどんなにラクでしょう。ひょっとしたら『獣害ゼロの町』で視察のメッカになり、視察ビジネスもできるかも・・・。

小田地区の方が言われていました。「これは地域づくりです」と。みんなで取り組んでみませんか。（サル対策はまた別の方法があるようです）



広島県東広島市小田地区

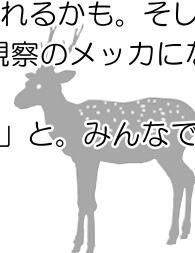
個人の柵が全くない風景



山ぎわには柵が、点検できるように草刈りもされていた



戸数 213 軒の集落で 18 個のオリを柵の外に設置



千種町内各種団体行事等の予定（9月～12月）

※ 各種団体からの掲載依頼があった行事を載せています。
掲載希望があれば、ぜひご連絡ください。

月 日		事業名	場 所	時 間	団 体 名
9月22日	日	地域ふれあい園小秋季大運動会	千種小学校		
10月13日	日	秋祭り			各自治会
10月13日	日	里帰り運動会	旧東小運動場	9:00～11:30	鷹巣自治会
10月14日	月	ちくさ中高合同体育祭	千種中学校	9:00～	
10月14日	月	西山秋祭り	千満宮神社		西山自治会
10/ 中旬		たたら製鉄体験実習（千種中学校）	たたらの里学習館	8:00～15:00	穴栗鉄を保存する会
10月18日	金	とち餅づくり（ふれあいフェスタで販売）	ええとこセンター	13:00～17:00	千種とちの木の家
10月20日	日	ふるさとづくり芸能大会	センターちくさ		千種文化協会
10月27日	日	ふれあいフェスタ	栄々人來広場他	10:00～15:00	ふれあいフェスタ実行委員会
11月2日	土	園小中高合同文化祭	千種小学校	9:00～	
11月3日	日	ちくさもみじ祭り	ちくさ高原キャンプ場周辺	8:00～15:00	千種まちづくり推進委員会
11月3日	日	たたら製鉄体験講座	ちくさ高原	8:00～15:00	穴栗鉄を保存する会
11月17日	日	園小中高合同マラソン大会	町内	10:00～	園小中高
11月24日	日	ふるさとの集い	旧東小体育館	9:00～15:00	鷹巣自治会
12月8日	日	ふれあい喫茶	西山公民館	10:00～14:00	西山自治会

妙見夏まつり 花火打ち上げ復活!!

7月27日(土)、『第58回妙見夏まつり』が盛大に開催されました。まつりのクライマックスでは、5年ぶりの花火が夜空に舞い、会場に大歓声が沸き起こりました。

色々な事情が重なり、花火を上げられなくなってから、「もう、あげないのか?」「花火がないと寂しいなあ」「何とか復活してもらえんかなあ」等々、多くの要望や相談があったといいます。『やろう会や実行委員会でも、何度も何度も協議し、今年、何とか打ち上げが出来る状態まで持って来ることができました。』と、小松実行委員長は話してくれました。

以前と比べると規模は小さくなりましたが、来年も綺麗な花火が観られるといいですね。

(花火は実際は一ヶ所からの打ち上げでした)

♡ こんにちは 赤ちゃん ♡

赤ちゃん写真大募集!

新しい可愛い家族を紹介してください。



おか みお
河 呂 岡 美桜ちゃん

父 真吾さん
母 友美さん

【メッセージ】
美桜ちゃん産まれてきてくれて
ありがとう♡
たくさんお出かけしようね♡



ふくした はると
千 草 福下 暖斗ちゃん

父 和明さん
母 令子さん

【メッセージ】
暖斗の笑顔を見ると家族全員疲れが
ふっとびます。暖斗の笑顔は家族全
員の癒しです。おしゃべりも増えて
きて、ますます可愛くなってしま
した。これからもすくすく育てね。



むらかみ えいた
七 野 村上 瑛大ちゃん

父 秀憲さん
母 訓仁子さん

【メッセージ】
いつもニコニコよく笑う瑛大♪
明るく優しい男の子になってね!